

社会科学習指導案

3年1組 36名 指導者 新名主 洋一

本授業では、以下の検証を行うものである。

子どもが進める授業において、ジグソー学習や学習問題づくりなど、多様なかわり合いやそのための土台づくりは、公民的資質を育むために有効であったか。

1 小単元 学校のまわり (大単元 1 わたしたちのまち みんなのまち)

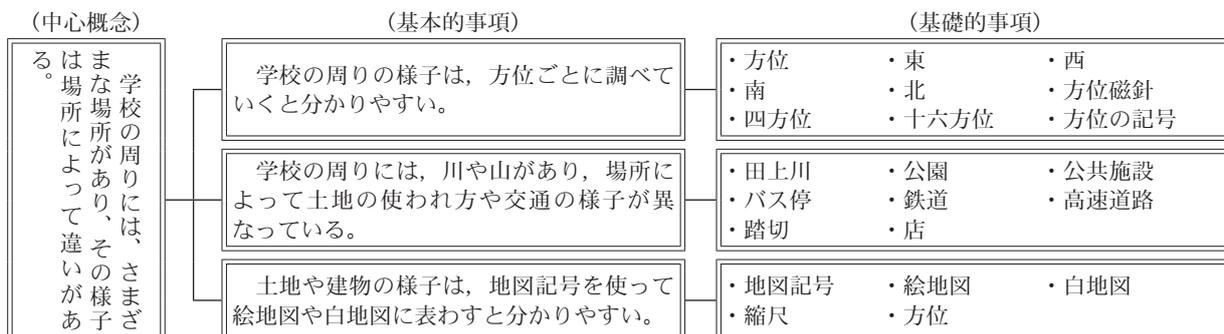
2 目 標

学校の周りの様子を観察し、地形や土地利用の様子、交通の様子について調べ、調べたことを絵地図や平面地図に表わして、学校の周りの様子は場所によって違うことを具体的に考えることができるようにする。

3 小単元の評価規準

- 学校の周りの様子に関心をもち、地形や土地利用の様子、交通の様子等について意欲的に調べ、身近な地域の特色やよさを考えようとしている。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 学校の周りの様子を方位ごとに比較しながら、地形や土地利用の様子、交通の様子等を関連付けて考え、考えたことを表現している。 【社会的な思考・判断・表現】
- 学校の周りの様子について必要な情報を集め、調べたことを地図記号等を用いて絵地図や白地図にまとめている。 【観察・資料活用の技能】
- 学校の周りの様子は場所によって違いがあることや、それぞれの場所の特徴やよさを理解している。 【社会的事象についての知識・理解】

4 小単元の構造について



5 小単元について

(1) 小単元の価値

本小単元は、学習指導要領の第3学年の目標(2)および(3)の一部を達成することをねらいとして設定した。子どもたちに一番身近な地域である学校の周りについて調べることで、地域の様子は、地理的な条件や社会的な条件で場所によって異なることが分かるようにすることをねらいとする。また、身近な地域の様子について見学や聞き取り調査を行い、それを絵地図や地図記号を用いた平面地図に表わす活動を通して、身近な地域の様子を具体的に考えることをねらいとして設定した。

そこで、場所によって違いがあることをより具体的に考えられるようにするために、ここでは、地形や土地利用の様子、公共施設、交通の様子、古くから残る建造物などを取り上げていく。本校が位置する田上地区は、田上川の両岸に広がる町である。学校の東と南には、それぞれ商店街があり、その近くをバスが通っている。また、学校の近くをJR鹿児島本線や九州自動車道が通るなど、交通の要所となっている。これらのことを関連付けながら指導していくことで、学校のまわりの具体的な様子に気付かせることができる。さらに、調べる過程やまとめる過程においては、調べたことを絵地図や平面地図で表現させる。この際、地図記号について指導する。そして、学習した地図記号を用いて平面地図を作成させることで、地図記号の良さに気付かせることができる。このような学習を行うことで、子どもたちに今まで気付かなかった社会的な事象に目を向けさせることができ、それが地域社会に対する誇りや愛情を育てることにつながる。

(2) 子どもの実態と指導

本学級の子どもたちは、3年生になって初めて社会科の学習が始まったこともあり、社会科の学習への関心が高く、授業に意欲的に取り組む姿が見られる。話し合い活動でも、積極的に意見を述べる子どもが多い。ただ、中には、自分の考えに自信がもてなかったり、初めての社会科の学習ということであまり考えることができなかつたりする子どもも見られる。そのため、ジグソー学習を取り入れ、グループ活動を主体に学習を進めることで、自らの考えを自信をもって表現できるようにしたい。また、小単元の中では、地図記号を学習するが、単に暗記するだけの学習では、子どもたちの意欲が失われてしまう。そのため、地図記号を学習することに意義をもたせるため、事前に絵地図を作成させ、それぞれの絵地図を比較する活動を通し、共通した記号があると便利であることに気付かせ、その上で、地図記号の学習に取り組む。また、昨年度の研究の成果から、話し合いによって学習を進めることに慣れていることから、小単元を通して子どもが進める授業を積極的に取り入れ、子どもが主体となって学習できるようにする。

6 指導計画（総時数13時間）

【リ図】：リレーションマップ記入

過程	主 な 学 習 活 動 【評価規準】	時間
つかむ・見通す	1 日常生活や通学の経験をもとに学校のまわりの様子についてわからないことや疑問に思ふことを話し合い、学習問題をつくりあげる。 田上小学校のまわりの様子は、どのようになっているのだろう。 【関・意・態】 日常生活や通学途中で見ている地域の様子を想起し、意欲的に学習計画を立てようとする。	1
	2 学習問題について予想し、学習計画（追究の柱）を立てる。 ◎ 地形について ◎ 土地利用の様子について ◎ 公共施設の場所について ◎ 交通の様子について ◎ 古くから残る建造物について 日常の生活から、よく見たり、近くを通ったりしている場所について想起させ、身近ではあるが、学校の周りについて実はあまりよく知らないことに気付かせる。	1 【リ図】
調べる	3 追究の柱について、個人やグループで調べ、全体で話し合う。 (1) 調べたい方位（東西南北）ごとにグループをつくり、方位ごとに5つの追究の柱について調べていく。（個人→グループ） ① 屋上からそれぞれの方位を見て、学校の周り様子について調べる。 ② 方位別に校区探検を行い、学校のまわりの様子について調べる。 (2) 調べたことを、絵地図にまとめる。 (3) 地図記号について知り、調べたことを地図記号を用いて平面地図に表わす。 (4) 生活グループへ戻り、各自で調べた方位の様子について、共通点や相違点を話し合う。（ジグソー学習） 【思・判・表】 学校の周りの様子を方位ごとに比較しながら、地形や土地利用の様子、交通の様子等を関連付けて考え、考えたことを表現している。 【技】 学校の周りの様子について情報を集め、調べたことを地図記号等を用いて絵地図や白地図にまとめている。	1 3 2 2 1 (本時)
	方位ごとに、5つの追究の柱について調べさせ、ジグソー学習を通し、調べたことの共通点や相違点を考えさせることで、学校の周りの様子に気付かせる。	
まとめる・生かす	4 調べたことをもとに、学習問題についてまとめる。 【知・理】 学校の周りの様子は場所によって違いがあることや、それぞれの場所の特徴やよさを理解している。 学校の横を田上川が流れ、その田上川のまわりに家が集まっている。また、大きな道路やバス通り沿いには、家やお店が多い。	1 【リ図】
	5 鹿児島市の様子はどのようになっているのか、これまでの学習を生かし、予想する。 小単元の学習問題についてまとめた後、次時の学習である鹿児島市の様子について予想させることで、次の学習への意欲付けを行う。	1

7 本 時 (11/13)

(1) 目 標

これまで調べた各方位の様子共通点や相違点を話し合い、学校の周りの特色を、地形や土地利用の様子、交通の様子等を関連付けながら考えることができるようにする。

(2) 評価規準

学校の周りの様子を、地形や土地利用の様子、交通の様子等を関連付けながら考えている。

【社会的な思考・判断・表現】

(3) 指導に当たって

本時は、「調べる」過程の第9時で、前時まで調べてきた方位ごとの様子をグループごとに話し合う活動を通し、学校の周りの様子を具体的に捉えられるようになることを期待して設定した。

そのために、「調べる」過程では、ジグソー学習を取り入れ、これまで地形や土地利用の様子、交通の様子等、調べてきたことをもとに、方位ごとの共通点と相違点を考えさせる。こうすることで、方位ごとの特色が現れやすくなり、学校の周りの様子を捉えやすくなるのではないかと考えた。このような活動を通し、学校の周りの様子について、子どもたちが主体的に考えられるようにしていきたい。

(4) 本時の展開

[] 子どもの意識

☞ 指導の手立て

※評価

過程	時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	教材等
つかむ・見通す	5	みんなで	1 司会団が、前時の振り返りをする。 { ・それぞれの方位について、調べてきたな。 ・地図記号を使うと分かりやすかったね。 } 2 司会団が本時のめあてや学習の流れを確認する。 学校のまわりの様子について、それぞれの方位の同じところやちがうところを見つけよう。 3 教師の補説を聞く。	学習計画表 補説では、本時の学習の目的を明確にできるように、これまでの学習について振り返る。 
調べる	30	一人で グループで みんなで	4 調べてきたそれぞれの方位について、話し合う前に確認する。 { ・公園があったよ。 ・お店が集まっている場所があった。 } 5 グループで話し合いながら、それぞれの方位の共通点や相違点について考え、発表する。 { ・どの方位にも、田上川が近くを流れているね。 ・どの方位にも、お店が集まっているところがあるね。 ・バス停があるところと、ないところがあるね。 ・神社があるところとないところがあるね。 ・いろいろな大きさの道路があるね。 } 6 グループの発表をもとに、教師が中心となってキーワードを見出す。 【予想されるキーワード】 同じ → 田上川 家 店 ちがい → ばしょによってちがう	学習シート グループ活動が円滑に行えるよう、グループ内で司会者を立て、話し合いを行わせる。  社会科入門期である子どもたちに、グループの発表内容を比較・関連させて考えることに気付かせるために、共通するキーワードを教師が提示する。 ※ 各方位の共通点や相違点に気づき、キーワードをもとに学校の周りの様子についてまとめられたか。
まとめる・生かす	10	みんなで	7 キーワードをもとにまとめ文を書き、司会団が中心となって本時の学習についてまとめる。 田上川ぞいに家や店が広がっているけれど、方位によって、様子はちがう。 8 教師の補説を聞く。 { ・バス停は、大きな道やお店が集まっているところの近くにあるね。 ・学校のまわりの様子は、変わってきているんだな。 ・時代によって、身近な地域の様子も変わるのだな。 } 9 わかったことやできたこと、新たな疑問等を確認して、本時の学習について振り返る。 10 司会団が、学習計画をもとに、次時の学習について確認する。	キーワードカード 校区地図 昔の学校周辺の写真 まとめられた子には、方位ごとの特色をより詳しく考えさせる。 うまくまとめられない子には、自分が調べた方位と関連付けながら考えさせる。 多面的な見方が出来るよう、時代によっても地域の様子が変わることを捉えさせる。 